

**地域福祉に関する自治会長アンケート調査  
報 告 書**

**令和5年3月**

# 目次

## I 調査概要

1. 調査目的 .....	1
2. 調査方法 .....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書を見る際の留意点.....	1

## II 調査回答集計

1 地域の状況について .....	2
2 福祉ニーズ等の状況について .....	5
3 地域の福祉や保健・医療に関する活動の状況について .....	6
4 活動や組織運営について .....	9
5 地域福祉活動を行う範囲について .....	10
6 再犯防止に関することについて .....	13
7 コロナ禍における活動に関することについて.....	16

# I 調査概要

## 1. 調査目的

平成31年3月に市地域福祉計画・地域福祉活動計画（以下「本計画」とする。）を策定いたしましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の影響による社会変化、複雑・複合化する地域の福祉課題等に対応するため、今般本計画の改正を予定しています。本計画の改正に伴い、自治会長の皆様が日頃の自治会活動の中で特に福祉の分野でお考えになっていることを伺い、本計画改定に反映させることを目的としています。

## 2. 調査方法

調査対象者：市内自治会長83名

調査方法：郵送配布・郵送回収又はオンライン回答による調査

調査時期：令和5年1月～2月

## 3. 回収結果

47.8%（11/23法人）

中学区	送付数	回答数	回答率
勝田一中	14	13	92.86%
勝田二中	11	10	90.91%
勝田三中	8	8	100.00%
佐野中	12	9	75.00%
大島中	10	10	100.00%
田彦中	5	5	100.00%
那珂湊中	19	18	94.74%
美乃浜学園	4	4	100.00%
合計	83	77	92.77%

## 4. 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合は、比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「N」とは、その設問の回答者総数を表しています。図表中にN=の記載がないものは、N=77となります。

- 図表中の「未回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- 平成 29 年 8 月（5 年前）にも同様の調査を行っています。過去の調査と比較して差異が見られたものについては、その内容を記述しています。

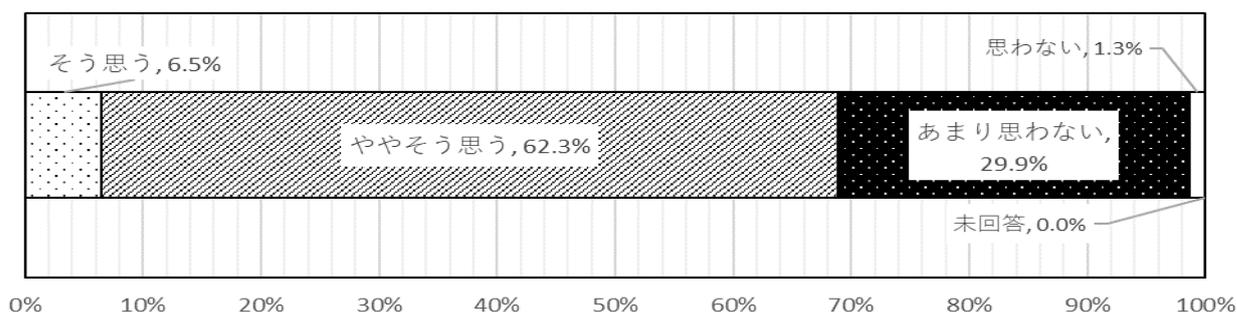
## II 調査回答集計

### 1 貴自治会の地域の状況について、どのように感じていますか。自治会長様のお考えにあてはまるものに○をつけてください。

問1 住民のつながりや支えあいの状況について住民どうしのつながりが強いと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて 68.8%と多数を占め、「あまり思わない」と「思わない」が合わせて 31.2%となっています。中学校区ごとの大きな違いは見られません。

5 年前の調査結果と比較すると、「そう思う」が約-5 ポイント、「ややそう思う」が約+8.13 ポイントとなっています。



#### ■ 5 年前の調査結果

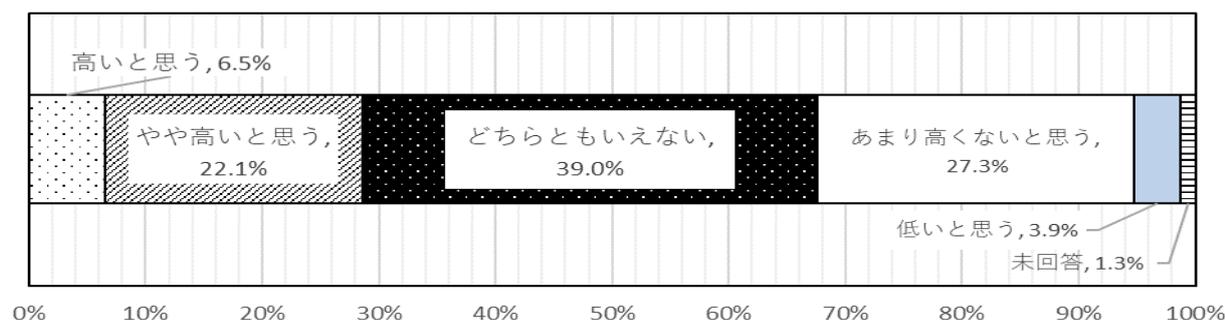
そう思う 11.1%, ややそう思う 54.2%, あまり思わない 31.9%, 思わない 1.39%, 未回答 1.39%

#### ■ 中学校区別

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
そう思う	1	1	0	0	2	0	1	0	5	6.5%
ややそう思う	6	7	6	5	4	4	12	4	48	62.3%
あまり思わない	6	1	2	4	4	1	5	0	23	29.9%
思わない	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1.3%
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

**問2 自治会活動について住民の関心が高いと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。**

「どちらともいえない」が39.0%と一番多い。「高いと思う」と「やや高いと思うが」合わせて28.6%ある一方、「あまり高くないと思う」と「低いと思う」が合わせて31.2%となっています。一中学区、佐野中区（同数）及び美乃浜学園区が「あまり高くないと思う」、二中学区及び佐野中区（同数）が「やや高いと思う」、その他の中学区は「どちらともいえない」が一番多くなっています。



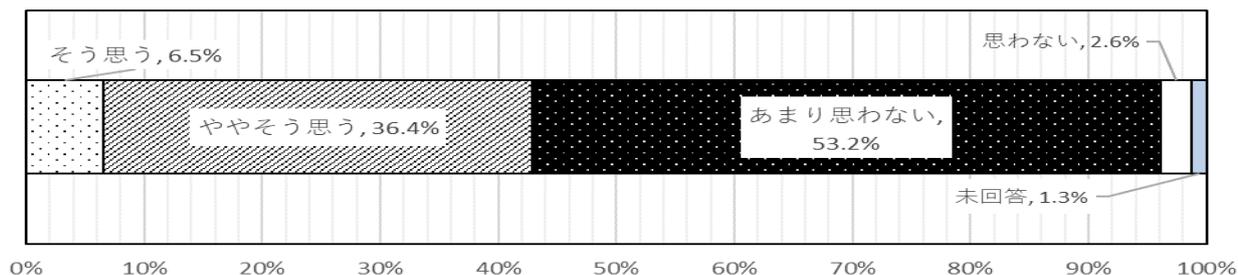
**■中学校区別**

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
高いと思う	1	2	0	1	0	1	0	0	5	6.5%
やや高いと思う	1	5	1	3	3	0	4	0	17	22.1%
どちらともいえない	4	1	5	2	4	3	10	1	30	39.0%
あまり高くないと思う	6	1	1	3	2	1	4	3	21	27.3%
低いと思う	1	1	1	0	0	0	0	0	3	3.9%
未回答	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1.3%

**問3 住民の多くの方が自治会活動へ参加していると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。**

「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて42.9%、「あまり思わない」と「思わない」が合わせて55.8%となっています。

5年前の調査では、全中学区で「ややそう思う」が一番多くなっていますが、（一中学区は「あまり思わない」も同数）、本調査では「あまり思わない」が一番多い（同数含む）中学校区が増える結果となっています。



#### ■中学校区別

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
そう思う	0	2	0	1	1	1	0	0	5	6.5%
ややそう思う	6	6	1	4	3	0	6	2	28	36.4%
あまり思わない	6	1	7	4	5	4	12	2	41	53.2%
思わない	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2.6%
未回答	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1.3%

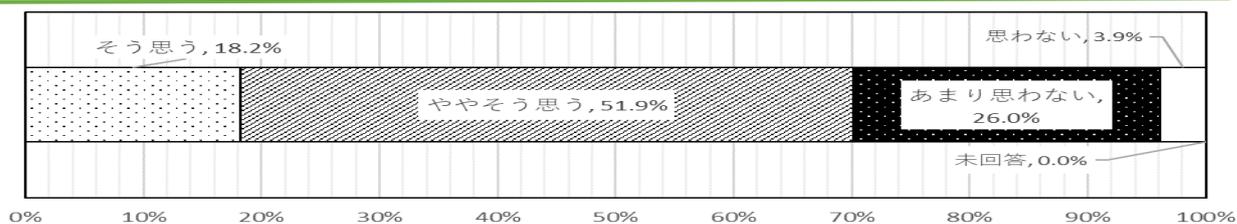
#### ■5年前の調査結果

回答	中学区									合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	平・阿			
そう思う	1	0	1	1	0	0	1	1	5	6.94%	
ややそう思う	5	6	4	6	6	2	8	2	39	54.17%	
あまり思わない	5	5	3	2	4	1	5	1	26	36.11%	
思わない	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2.78%	

問4 自治会と他の団体（例：民生委員、高齢者クラブ、NPO、ボランティア団体など）との連携が進んでいると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて70.1%、「あまり思わない」と「思わない」が合わせて29.9%となっています。

5年前の調査結果と比較すると、「そう思う」「ややそう思う」が約+6ポイントと増加しており、連携が進んでいる状況が見られました。



■ 5年前の調査結果

そう思う 12.5%, ややそう思う 51.4%, あまり思わない 31.9%, 思わない 4.2%

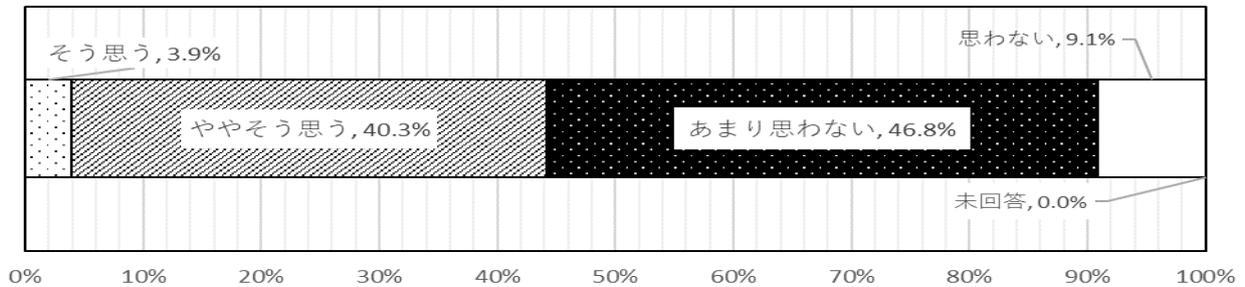
■ 中学校区別

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
そう思う	6	4	2	1	1	0	0	0	14	18.2%
ややそう思う	3	5	4	2	8	3	11	4	40	51.9%
あまり思わない	3	1	2	5	1	2	6	0	20	26.0%
思わない	1	0	0	1	0	0	1	0	3	3.9%
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

**2 福祉ニーズ等の状況について、どのように感じていますか。自治会長様のお考えにあてはまるものに○をつけてください。**

問5 自治会内で生活が苦しい人が増えたと感じますか。あてはまるものを 1 つ選んでください。

「あまり思わない」と「思わない」が合わせて 55.9%と過半数を占め、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて 44.2%となっています。5年前の調査結果と比較すると、「そう思う」「ややそう思う」が約+8ポイントの結果となっています。



■ 5年前の調査結果

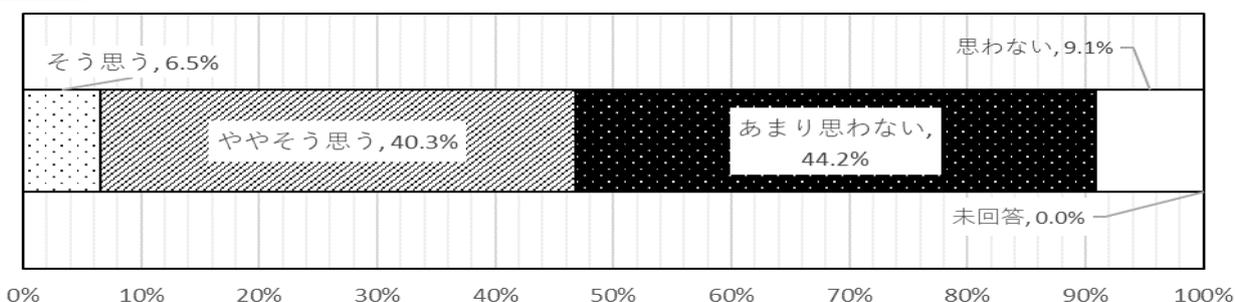
そう思う 8.3%, ややそう思う 27.8%, あまり思わない 48.6%, 思わない 11.1%, 未回答 4.2%

■中学校区別

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
そう思う	1	1	0	0	1	0	0	0	3	3.9%
ややそう思う	5	6	4	1	4	0	9	2	31	40.3%
あまり思わない	5	3	4	6	5	4	7	2	36	46.8%
思わない	2	0	0	2	0	1	2	0	7	9.1%
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

問6 自治会内で地域から孤立した人やひきこもりの人が増えたと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「あまり思わない」と「思わない」が合わせて53.3%と過半数を占め、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて46.8%となっている。



■中学校区別

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
そう思う	2	2	0	0	1	0	0	0	5	6.5%
ややそう思う	6	3	4	2	5	2	7	2	31	40.3%
あまり思わない	4	5	3	3	4	3	10	2	34	44.2%
思わない	1	0	1	4	0	0	1	0	7	9.1%
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

3 貴自治会の地域の福祉や保健・医療に関する活動の状況についてお伺いします。あてはまるものに○をつけてください。

問7 地域の福祉や保健・医療に関する次のような活動を行っていますか。ただし、市から補助金等が出ている事業については含みませんが、コミュニティ活動などの団体活動に自治会として参加している場合は含みます。

---

「地域での交流やつながり作り」が54.5%、「災害時の備えや救援をすすめる」が58.4%、「健康づくりをすすめる」が50.6%と取り組んでいる自治会がそれぞれ過半数を超えています。一方、「家事、介護、子育てなどを支援する」が3.9%、「障がい者などの外出や社会参加を支援する」が1.3%、「困窮者に対して支援する」が2.6%とそれぞれ活動を行っている自治会は一桁となっています。

---

◆「その他」の意見

- ・ 中学卒業生、小学入学生、補助金1当5000円
- ・ コロナ支援

**問8 今後、自治会として取り組みたい活動はありますか。あてはまるものすべて選択ください。**

---

問9と比較して、「ゴミ出しの手伝いなど身近な支えあい」【19.5% → 40.3%】、「高齢者や子どもなどの見守りや声かけ（小地域ネットワークを除く）」【37.7% → 45.5%】、「家事、介護、子育てなどを支援する」【3.9% → 10.4%】、「障がい者などの外出や社会参加を支援する」【1.3% → 10.4%】、「困窮者に対して支援する」【2.6% → 5.2%】とそれぞれ増加しています。

---

◆「その他」の意見

- ・ コロナ支援
- ・ 買い出し支援等
- ・ 本人の申し出があった場合検討する。プライバシーの関係で進んでは入っていけない

**問9 自治会の区域内で、自治会以外の団体が取り組んでいる活動はありますか。**

**あてはまるものすべて選択ください。**

---

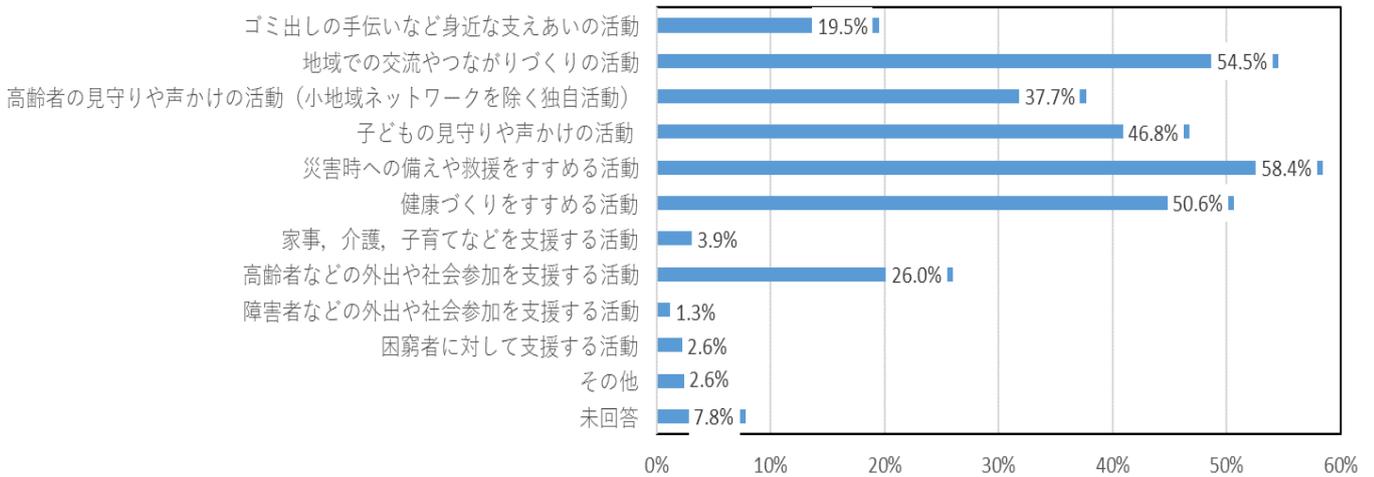
「健康づくりをすすめる」が31.2%、「地域での交流やつながりづくり」が26.0%と多くなっています。

---

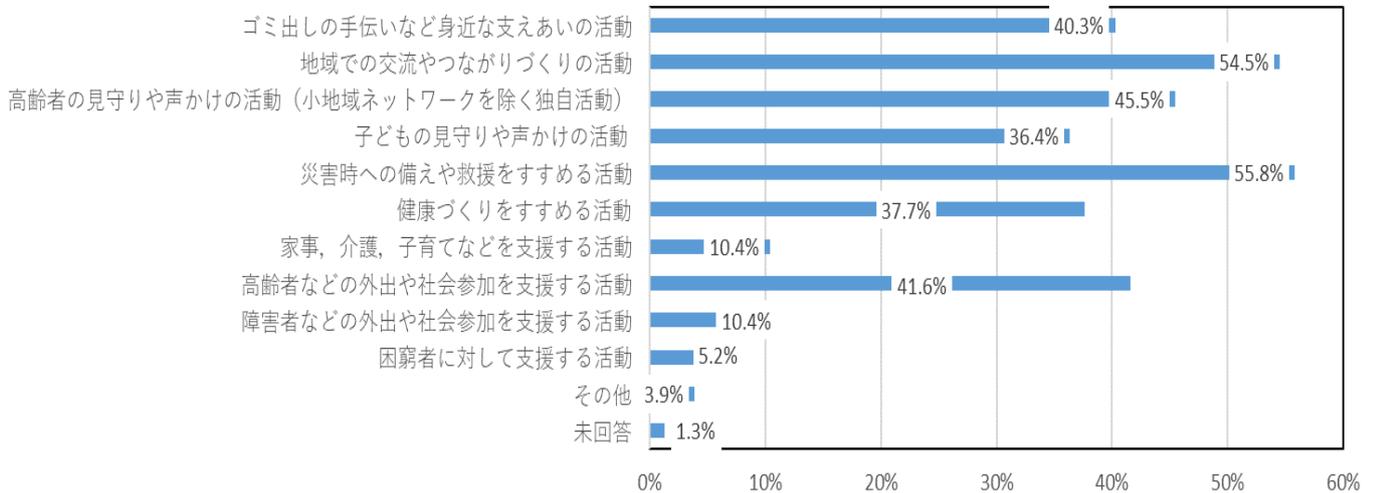
◆「その他」の意見

- ・ 希望者への移動販売（とくしまる）
- ・ 特になし
- ・ 不明

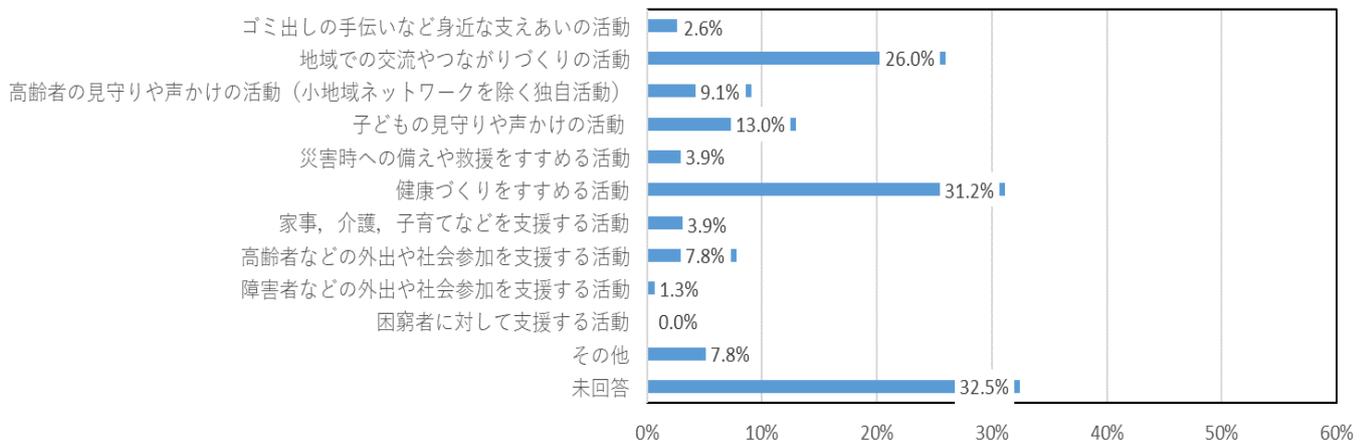
【問7 地域の福祉や保健・医療に関する活動を行っているか】



【問8 今後、自治会として取り組みたい活動はあるか】



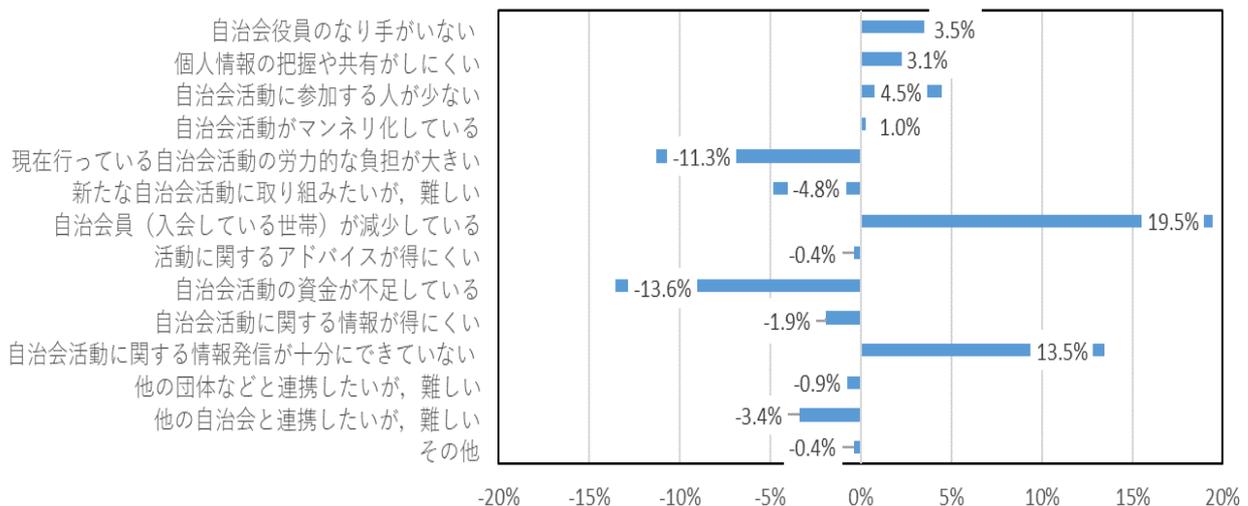
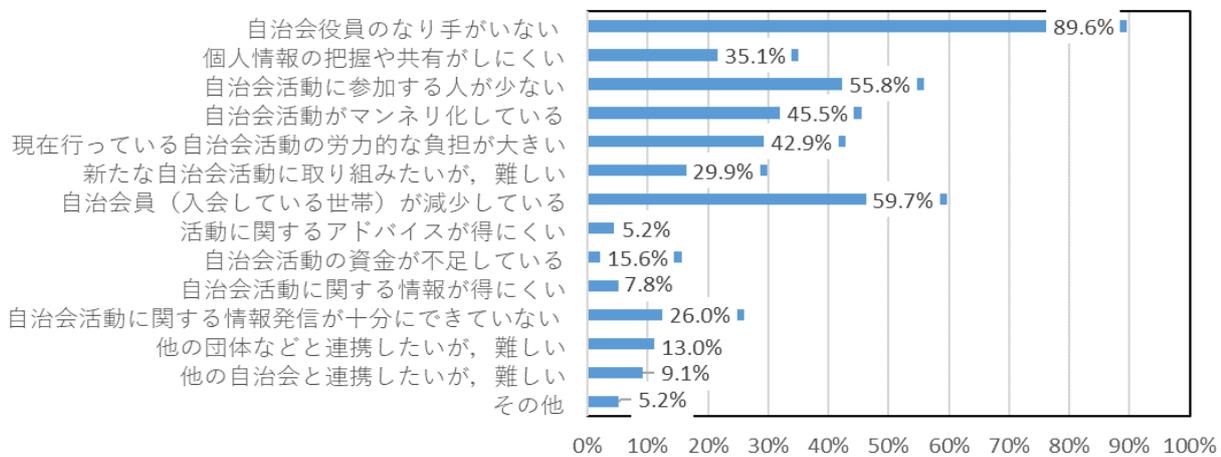
【問9 自治会の範囲内で、自治会以外の団体が取り組んでいる活動はあるか】



#### 4 貴自治会の活動や組織運営についてお伺いします。

問10 活動や組織運営において困っていることは何ですか。あてはまるものすべて選択ください。

「自治会役員のなり手がいない」が89.6%と多数を占め、「自治会員（入会している世帯）が減少している」が59.7%、「自治会活動に参加する人が少ない」が55.8%と過半数を占めている。次いで、「自治会活動はマンネリ化している」が45.5%、「現在行っている自治会活動の労力的な負担が大きい」が42.9%、となっています。一方、「自治会活動に関する情報が得にくい」が7.8%、「活動に関するアドバイスが得にくい」が5.2%と少数の結果となっています。5年前の調査結果と比較すると、「自治会員（入会している世帯）が減少している」が約+20ポイント、「自治会活動に関する情報発信が十分にできていない」が約+13ポイントと変化が見られます。



#### ◆「その他」の意見

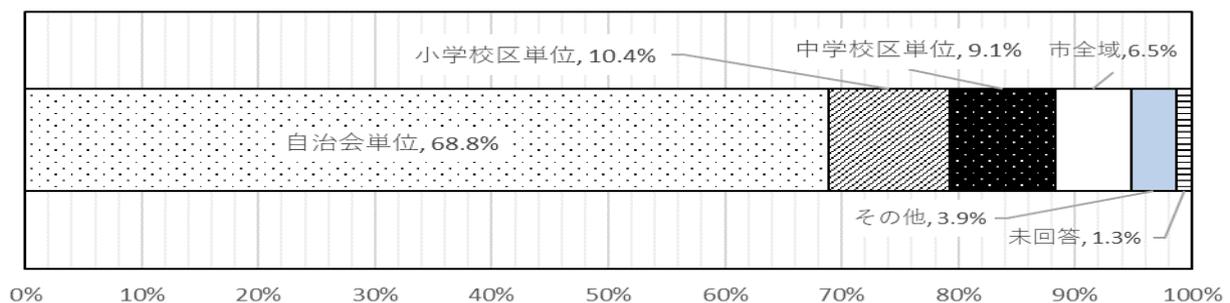
- ・ AP 等に入居している人に PR するも入会者がいない。

- ・自治会会員といってももしかたなく会員となっている人が多いと思われる。せめて防災防犯上は安全確保をしたく令和5年度から組織を新しくして取組む方向で進めている。
- ・地域内での情報共有を図ろうとしているが、温度差があり難しい。
- ・高齢で自治会を抜きたい。役が回ってくるので抜けないなど問題課題あり。
- ・参加については回覧が手段である。これ以上になると個人勧誘となり自治会の班長組長にお願いすることにより益々班長組長を引き受ける人が減少してしまう。その点で自治会を含めて事業等を増やすことができない。
- ・退会者が多くなっている。
- ・男の独身者が自治会に入らない
- ・自治会単独で活動することが望ましいと考えている方が多い。共催事業が負担増になる。

## 5 地域福祉活動を行う範囲についてお伺いします。

### 問11 高齢者の見守りについては、どの範囲で行うことが有効であると考えますか。

「自治会単位」が68.8%と多数を占めています。「小学区単位」が、10.4%、その他「小学区単位」,「中学区単位」,「市全域」については各10%未満となっています。



#### ■中学校区別

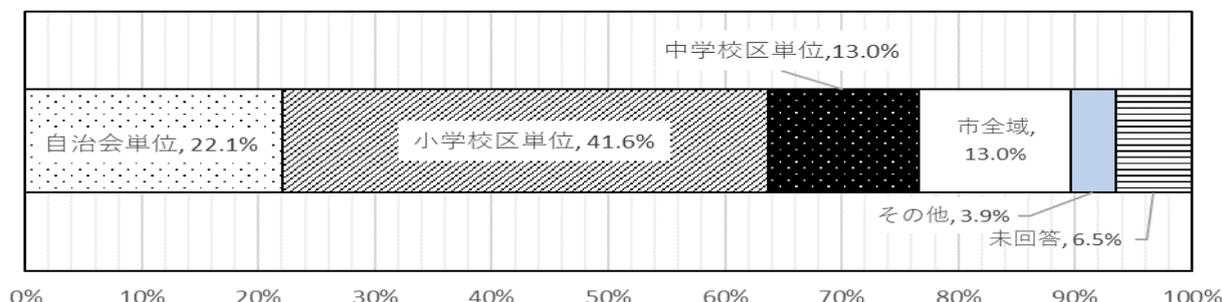
回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	平・阿		
自治会単位	7	6	5	7	6	3	11	3	48	66.67%
小学校区単位	1	1	0	0	2	0	2	0	6	8.33%
中学校区単位	1	2	0	1	1	0	1	1	7	9.72%
市全域	0	1	2	1	0	0	2	0	6	8.33%
その他	2	1	0	0	1	0	0	0	4	5.56%
未回答	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1.39%

#### ◆「その他」の意見

- ・分からない
- ・現在自治会単位で行っているネットワークを変えるのか。質問の意味不明
- ・社協関係からの協力な呼びかけで班長単位ぐらいで試みてはどうか。
- ・自治会の組単位

問12 子育て支援については、どの範囲で行うことが有効であると考えますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「小学区単位」が41.6%と一番多くなっており、次いで「自治会単位」が22.1%、「中学区単位」が13.0%、「市全域」が13.0%となっています。



### ■ 中学区別

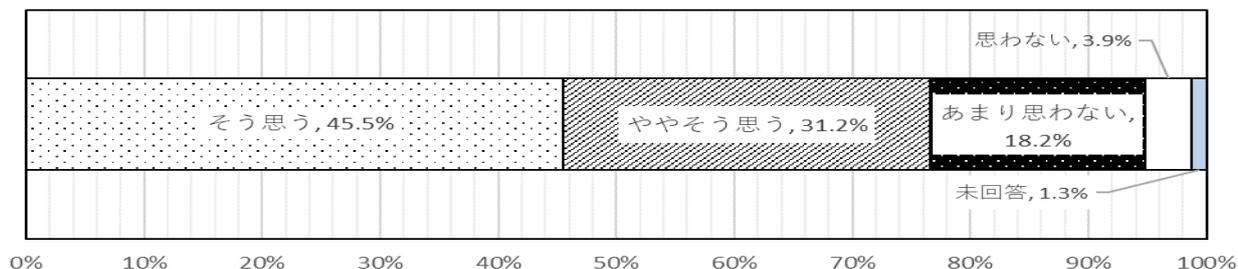
回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
自治会単位	2	6	1	3	2	0	1	2	17	22.1%
小学区単位	6	2	3	3	4	0	14	0	32	41.6%
中学校区単位	0	0	3	1	1	3	0	2	10	13.0%
市全域	2	1	1	2	1	2	1	0	10	13.0%
その他	1	1	0	0	0	0	1	0	3	3.9%
未回答	2	0	0	0	2	0	1	0	5	6.5%

### ◆ 「その他」の意見

- ・分からない
- ・子どもの多い自治会とほとんど居ない自治会があり一概には云えない。
- ・親子が自由に遊べる施設がない。ふぁみりコラボは遠い
- ・社協関係からの協力的な呼びかけで班長単位ぐらいで試してみてもどうか。

問13 高齢者の見守りや子育て支援活動などの地域福祉活動については、他の自治会やコミュニティ、民生委員、NPOやボランティア、事業者などの団体との連携が必要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて76.7%と過半数を占め、「あまり思わない」と「思わない」が合わせて22.1%となっている。5年前の調査結果と比較すると、「そう思う」「ややそう思う」が約+18ポイントと増加した結果となっています。



■ 5年前の調査結果

そう思う 33.3%, ややそう思う 25.0%, あまり思わない 29.2%, 思わない 4.2%, 未回答 8.3%

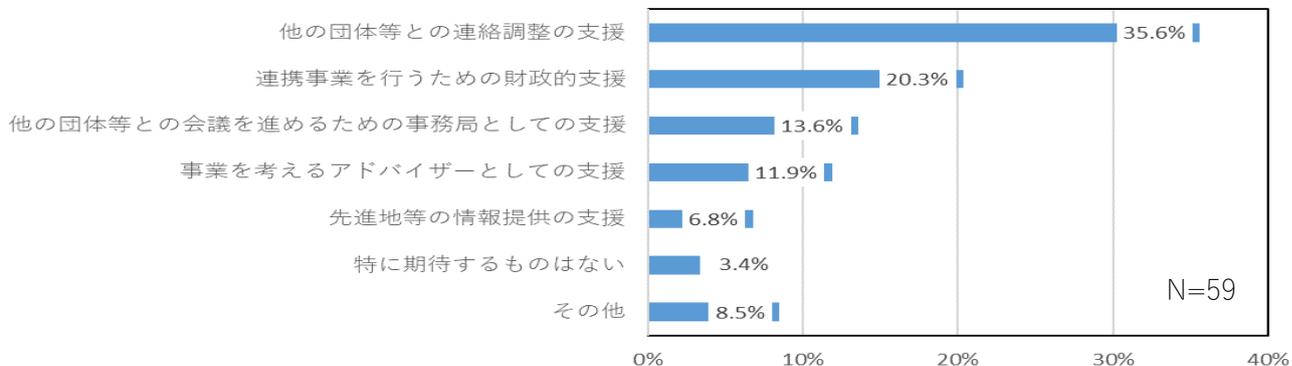
■ 中学校区別

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
そう思う	9	5	4	2	3	1	9	2	35	45.5%
ややそう思う	2	4	1	2	5	3	6	1	24	31.2%
あまり思わない	2	1	1	5	0	1	3	1	14	18.2%
思わない	0	0	1	0	2	0	0	0	3	3.9%
未回答	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1.3%

問14 問13で「1 そう思う 2 ややそう思う」とお答えした方にお伺いします。他の自治会や団体等と連携するにあたり、市に期待する支援は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

「他の団体等との連絡調整」が35.6%と一番多く、次いで「連携事業を行うための財政的支援」が20.3%「他の団体等との会議を進めるための事務局としての支援」が13.6%となっている。

5年前の調査結果と比較すると、数の分布は異なるものの、「他の団体等との連絡調整」と「連携事業を行うための財政的支援」が上位2項目となっています。



◆「その他」の意見

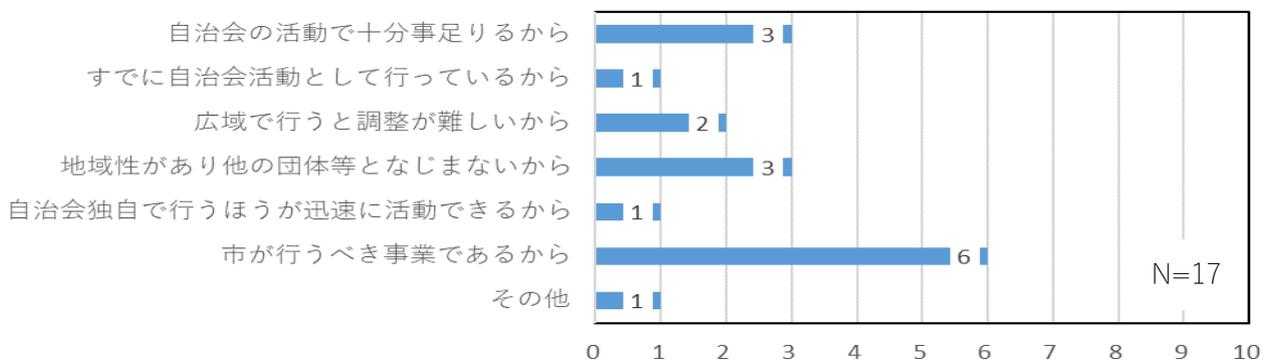
- ・軽トラック等（活動金）市へお願いする前に自治会として取組んでいく。
- ・連携を取りたくても人的に限られるため会員が理解納得いくかどうか。自治会の対応では温度差があり、難しい。理想は自分たちの地域やとなりの地域と情報共有をすることが重要であるが、現実問題では難しい。自治会加入者未加入者でもランクをつける方法を検討しなければ？

（複数選択）

- ・「連携事業を行うための財政的支援」, 「事業を考えるアドバイザーとしての支援」
- ・「連携事業を行うための財政的支援」, 「事業を考えるアドバイザーとしての支援」, 「先進地等の情報提供の支援」
- ・「他の団体等との連絡調整の支援」, 「事業を考えるアドバイザーとしての支援」
- ・「他の団体等との連絡調整の支援」, 「連携事業を行うための財政的支援」, 「他の団体等との会議を進めるための事務局としての支援」
- ・「他の団体等との会議を進めるための事務局としての支援」, 「事業を考えるアドバイザーとしての支援」

問15 問13で「3 あまり思わない 4 思わない」とお答えした方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

「市が行うべき事業であるから」が6自治会と一番多く、次いで「地域性があり他の団体等となじまないから」「自治会の活動で十分事足りるから」が3自治会となっています。



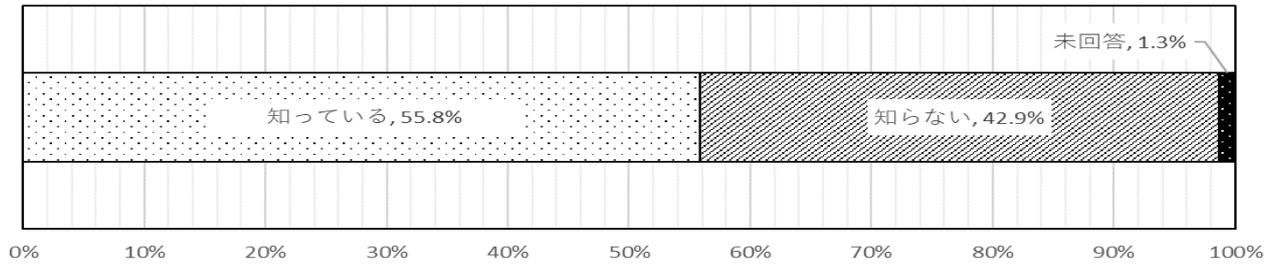
◆「その他」の主な意見

- ・個人情報がからみ、自治会では無理があり、行政が本来やるべき。行政が出来ないこと等が有れば、打合わせで対応することは可と思う。
- ・未加入者は不明になりがち

**6 再犯防止に関することについてお伺いします。**

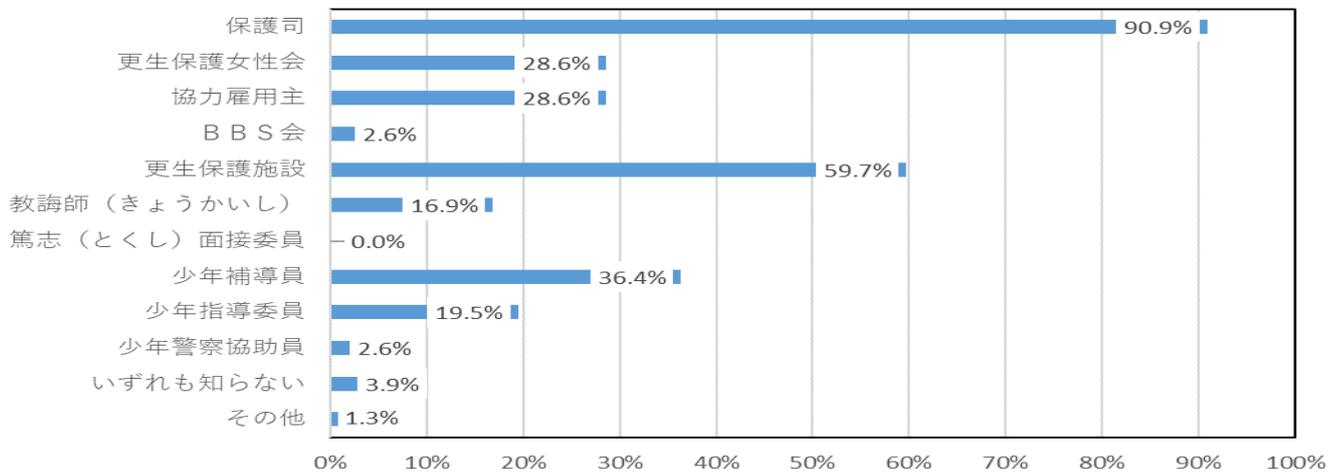
問16 再犯者の割合が増加し続けていることを知っていますか。

「知っている」が55.8%, 「知らない」が42.9%となっています。



**問 17 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。**

回答者の再犯防止に協力する民間協力者についての認知度は、「保護司」が90.9%、「更生保護施設」59.7%、「少年補導員」36.4%、「更生保護女性会」28.6%、「協力雇用主」28.6%、「少年指導委員」19.5%、「教誨師（きょうかいし）」16.9%となっています。

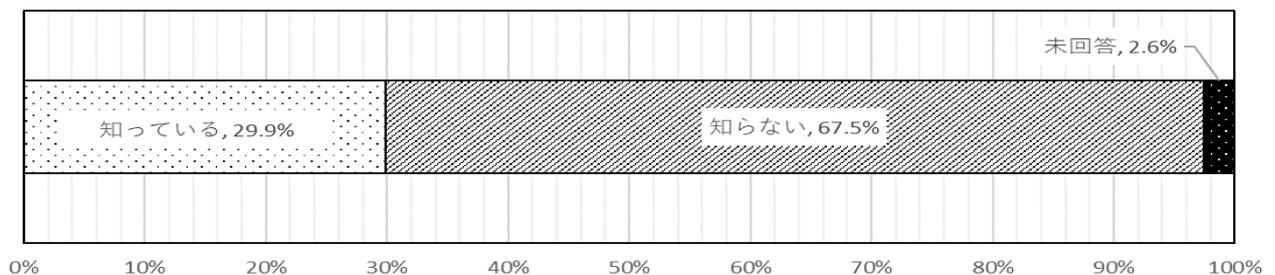


◆「その他」の意見

- ・詳しくは知らない

**問 18 更生保護の内容について知っていますか**

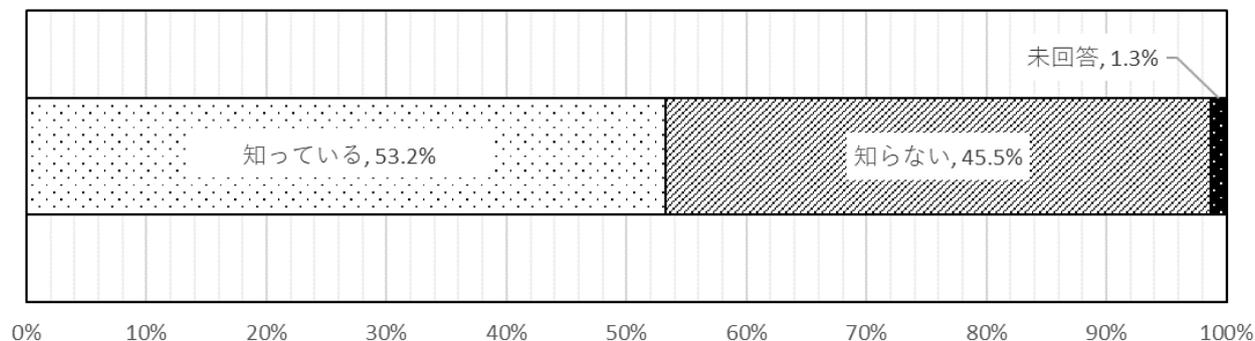
回答者の更生保護の内容についての認知度は、「知っている」が29.9%、「知らない」が67.5%となっています。



### 問 19 「社会を明るくする運動」や「再犯防止啓発月間」を知っていますか

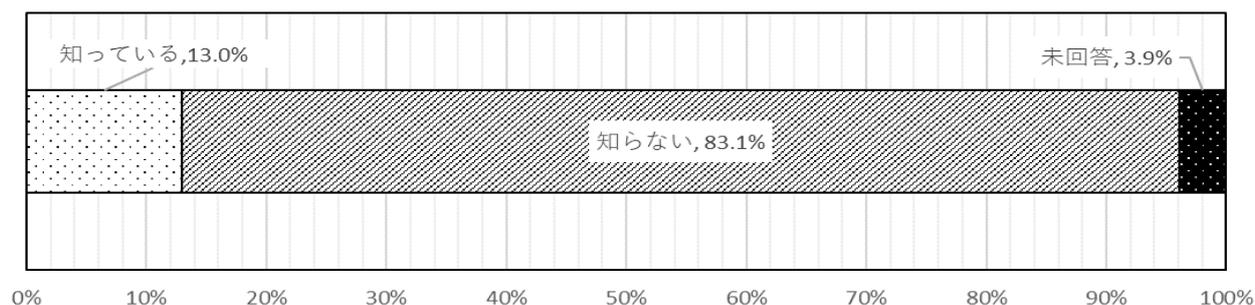
#### ◇社会を明るくする運動◇

回答者の社会を明るくする運動の内容についての認知度は、「知っている」が53.2%、「知らない」が45.5%となっています。



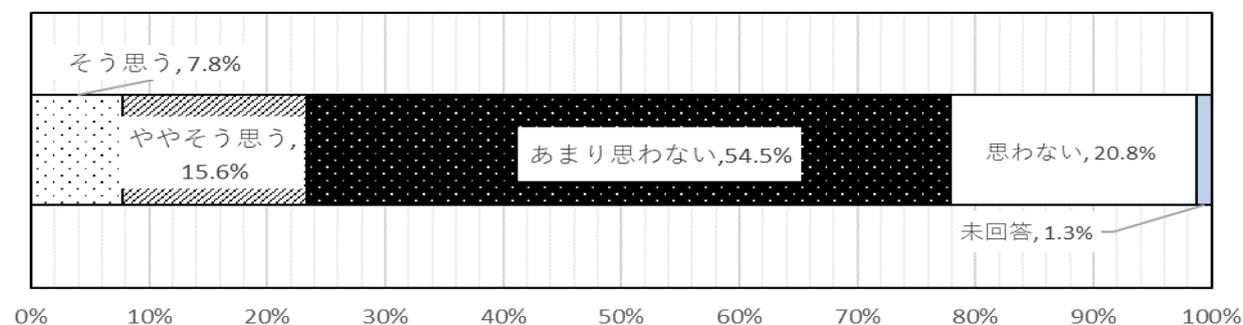
#### ◇再犯防止啓発月間◇

回答者の再犯防止啓発月間の内容についての認知度は、「知っている」が13.0%、「知らない」が83.1%となっています。



### 問 20 犯罪をした人の立ち直りに自治会として協力したいと思いますか。

回答者の犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思うかについては、「あまり思わない」が54.5%、「そう思わない」が20.8%、「そう思う」が7.8%、「やや思う」が15.6%となっています。約2割強の方が協力したいという結果でした。



■中学校区別

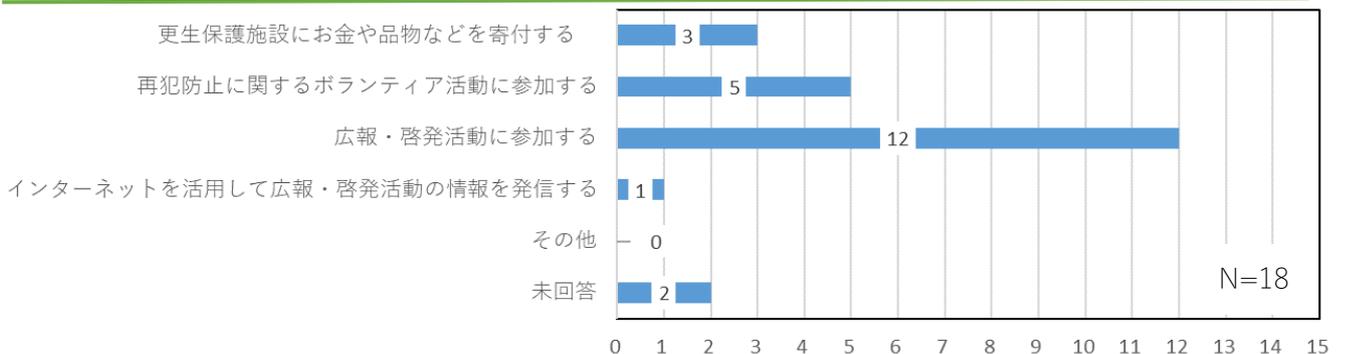
回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜		
そう思う	4	1		0	0	0	1	0	6	7.8%
ややそう思う	3	0	2	0	3	0	3	1	12	15.6%
あまり思わない	4	6	5	5	4	5	10	3	42	54.5%
思わない	2	3	1	4	3	0	3	0	16	20.8%
未回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.3%

◆その他の頂いた意見

- ・個人的には協力したいが、現状自治会として活動しても何人位理解して協力をもらえるか疑問
- ・自治会として協力はしたいが、どのような対応を考えているのか。過去についてをすべて公開しての対応をするのかどうか。誤解を招くことも検討しなければ本人にマイナスになることも。
- ・再犯防止するために、自治会の協力はいかななものか？ボランティアに頼るのではなく、もっと活気的な活動を試みないと再犯を防止することは難しい。カタチにとられないこと。

問21 問20で、「1. そう思う 2. やや思う」とお答えした方にお伺いします。どのような協力をしたいと思いますか。あてはまるものすべて選択ください。

「広報・啓発活動に参加する」が12自治会、「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が5自治会、「更生保護施設にお金や品物などを寄付する」が3自治会、「インターネットを活用して、広報・啓発活動の情報を発信する」が1自治会となっています。



7 コロナ禍における活動に関することについてお伺いします。

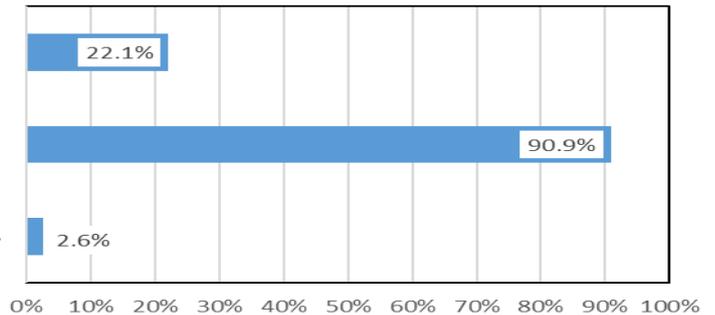
問22 コロナ禍においてイベント中止の判断は何を基準にしておこなっていますか。あてはまるものを選択し、記載ください。

「役員等で話し合いその都度決定している」が、90.9%と大多数をしめ、「中止にする基準を具体的に決めている」自治会は、22.1%となっています。

感染者数，県の対策ステージ等を参考にするなど，中止にする基準を具体的に決めている。

役員等で話し合いその都度決定している。

その他



### ◆中止にする基準の具体的内容

- ・市や社協に相談した上で決めています
- ・市・県の病床数等保健所からの情報提供，抗体検査キットの活用・普段から取組み等
- ・ステージ3
- ・ステージ4～3
- ・自治会の会員の手合や事業について密になるものを選ぶ
- ・市の行事催行の状況を見て判断/県・市・コミ組織を基準に
- ・入場制限等主催側が入場者のコントロールが出来ると判断できる場合は実施してきた。このような時なので、会員のつながりが失われないように実施した。中止にした事業は自治会としては敬老会を記念品配布にしたことだけである。

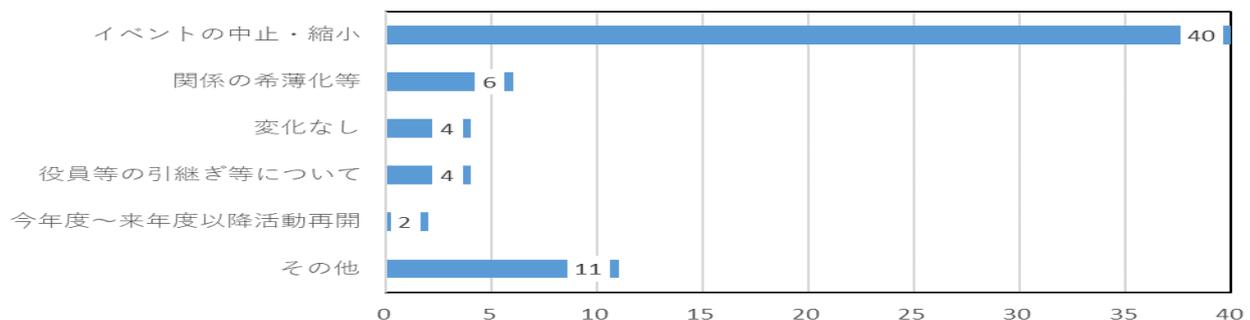
### ◆その他

- ・地域のコロナ感染状況が自治会に入らないのでテレビニュースと学校のうわさで判断せざるを得ない
- ・行政よりの連絡，サジェスチョン，感染状況

### 問23 コロナ禍以前と比較して，貴団体の活動に変化はありましたか。

お寄せいただいたご意見は内容に変更が生じない程度に一部語句等の修正や，同様の意見が複数寄せられたものは代表する意見のみの掲載をしておりますが，原則そのまま掲載しておりますので，名称が異なっていることや誤字等もある場合もありますが理解ください。

また，個々の回答は複数の内容に触れている場合がありますが，回答を分類するに際しては，回答内容の中で主要なものひとつに限定して分類を行っています。



#### ◆イベントの中止・縮小（40件）

- ・密になることが想定されるイベントは全て中止している。
- ・食事ができないので、配布中止になった。
- ・会員交流事業、視察研修、敬老会等、多数が集まる行事、会食を伴う行事、会議はすべて中止している。
- ・環境美化運動町内清掃花植え 6/5、12/4 実施。再生資源収集作業 1 年間実施しました。
- ・コロナ禍以前と比較すれば、当然自治会活動は中止、または縮小された。
- ・イベント中止が多いことに加え、高齢者へのコロナ禍の配慮が重要であることから、活動に大きな影響が生じている。今後収束のかたちを見据えながら、どのように立て直していくかということが大きな課題と考えている。
- ・当初はコロナ感染防止が重要と考え、自治会の色々な事業（活動）を中止もしくは縮小せざるを得なかったが、最近はコロナ感染防止を考えながら事業を進めようと考えているが、自治会役員がコロナ禍になってから就任した人が多く事業を実施することで苦労するのなら楽な方を選択する役員が多いような気がする。私はもっと事業を実施するとか代替の事業を考えるなど早く元の自治会活動に戻していきたいと考えている。
- ・人を集める行事で、室内の場合は出来ていない。文書による連絡では人も集まらない。顔を合わせることも重要ですね。又、マスク顔では相手がわからないし、コミュニケーションとりが難しいです。
- ・30名以上出席する会議は開催していない。代替りとして幹部のみの会議で代替している。”
- ・一人住まい高齢者との会食の中止
- ・活動はほとんど実施出来ない状態、役員で現役の人が多く、企業よりコロナ対策の指示があり、優先しなければならない。
- ・当自治会内の活動には変化は有りません。地域の行事はコロナの関係で数年間中止となった事もあり、再開したとしても参加するかは難しいかなと思っている。2022年は予定外で子供が参加可能な屋外での行事を2件行っている。※公園を利用してのキャンプ体験他
- ・行事の中止が多くなり、工夫しながら進めているが、早い収束を願っている。
- ・全体に声をかけ、集合する行事はすべて中止にしているが、それを補うための企画が増えた。
- ・但し、自治会地域内の公園清掃は感染防止に中止しつつ、ほとんど自治会員全員が参加して、全員の交流する数少ない機会になっている。
- ・社会福祉支部活動（2月下旬活動）3年連続中止など。人とのつながりが少なくなった。
- ・付近に感染者が発生して訪問や防犯バトロールの参加人員が減少した。
- ・高齢者の割合が高いため活動が減少している。
- ・部会活動の減少。
- ・年間行事がほぼ中止となり、会員同士が顔を合わせる機会があまり無く自治会活動が停滞している。
- ・年間行事を決めているけど、ほとんどが中止になりました。昨日から行事によっては縮小しながらも、戻りつつ有ります。

#### ◆関係の希薄化（6件）

- ・人と交流する企画を減少するしかなく、地域の絆は希薄化してしまっている。自治会事業・地域福祉活

動も同様になっている。この状況が続けばコミュニティ活動の崩壊につながるものが心配である。

- ・ 会員の交流の機会が減った。
- ・ 大きく変化している。各組で行っていた年1度の総会が中止となり組内のコミュニケーション低下が顕著。こんにちはの挨拶が減った。
- ・ 夏まつり、歩く会、輪投げ大会などの主要な行事が全て中止となり会員のコミュニケーションが非常に少なくなっている様に思う。3年間のブランクは大きい。
- ・ 総会の書面化や夏祭り、敬老会、運動会等の中止もあったことから、会員の繋がりが希薄化されており、自治会活動が消極的な傾向になったと感じられる。

#### ◆変化なし（4件）

- ・ ほとんど変わらない。むしろ朝市については参加者が増えている。
- ・ 特に変化はありません。

#### ◆役員等の引継ぎ等について（4件）

- ・ コロナ禍になり、班長さん方がコロナ禍前を経験している者がいないため仮に今年度各種の活動を行った場合運営に苦慮することが考えられる。以前経験した班長がいないということです。
- ・ 役員が多少入れ替わり、経験者が今まで通りスムーズに活動ができるか不安になっている。
- ・ 「今まで通りの活動に多少変化をもたせたい」の意見が多い。
- ・ 高齢化進展、行事担い手へのノウハウ引継ぎ希薄化進展。
- ・ 活動そのものは変化無いと考えるが、3年間活動が休眠状態に有った為、役員 of 行事経験が無くなる、伝承が出来ない等の状態になりつつある。
- ・ 高齢者の外出控えにより足腰の低下をきたし、益々外出困難者が 増大している様に見える。

#### ◆今年度～来年度活動再開（2件）

- ・ 2年間は活動を自粛していましたが、今年度から全ての行事をコロナ以前に戻しました。但し感染防止のために、実施する方法は変更しています。
- ・ 高齢者が多い（輪番の組長も）ために屋内に20人近く集まる会合には敏感でR2年度は役員会2回（毎月予定）のみ。R3年度は5回。今年度は毎月開催と次第にコロナ禍前に戻りつつある。しかし、会員全員対象のイベント開催は今年度も抵抗強くすべて中止でした。しかし変化の兆しが出てきている。

#### ◆その他（11件）

- ・ コロナ禍もありますが、会員の高齢化による体調悪い人はデイサービスを受ける人が多くなってきています。地域清掃活動や社協の福祉バスの移動研修に参加できない人が増えています。反面災害時の防災訓練や敬老会等にて参加協力を得ています。今後としては高齢者への福祉活動を十分に考えていきたいと考えています。
- ・ 自治会活動に対する意識関心の低下
- ・ 自治会員のコロナに対する恐怖心に温度差があり従来行ってきた行事の再開がむずかしくなっている

る。「もうそろそろ良いのでは」と行事を望む声上がる一方「とんでもない、責任が取れるのか」との声があり、行事開催が出来ずにいる。

- ・変化あり
- ・集団活動が少なくなった。
- ・一部行事に簡素化して実施。
- ・自分はコロナの3年間たまたま在籍した次第です。この地に住んで50数になります。入居時は自分以外でも30才前後でほとんど行事は少なかったが参加者も沢山おりました。50年以上たつと体の自由がきかない方が増えて行事への参加も仕方がありません。行事を行ってもケガをされる方も出るようになりました。コロナの心配はないと言われても素直に受け取れないのが実感です。60代、70代の役員さんは仕事中止の生活は仕方がありません。とても今の役員（特に会長）は無理だと思います。会長の仕事が多過ぎます。
- ・コロナ禍の中イベントが数多く中止になりましたが、自治会会員からは自治会活動の本来の姿を求める声、また自治会活動とは何か？を考える機会が得られた。各事業に対してどのように携わるかが問われている。自治会活動からの退会（組全員）があり、班長との話し合いや班内組長全員での話あいがあり、率直な意見が出された。イベントへの協力（複数自治会主催、中学区共催）が難しい。自治会・執行部・役員会の考えが求められている。
- ・直接会って話をする機会が減り、メール・電話等によるコミュニケーションが増えた。
- ・変化は余りない。規模について多少縮小しているが、年間計画で決めたこと等は実施した。新規事業も2つほど追加して実施した。事業をやらないことによるマイナスとやることによるマイナスを検討した。感染リスクは検討しながらも、対策を講じて実施した方がプラスと考えた。なお感染リスクの回避は本人の意識・責任の問題として検討。
- ・事業を企画しても参加者がいない